

第40回長野県赤十字放射線技師会研修会 議事録

2011/09/11長野赤十字病院 新棟 2F会議室

【総会】

- ・会長挨拶 牧内会長
- ・記念贈呈

会長が各施設と会員一人に1つずつ、40回を記念して多機能懐中電灯が贈呈された。

- ・会費について
変更なし。

- ・規約の変更について

「研究補助金」の制度がありますので利用していただきたい。施設の所属長に申請。

- ・中部ブロック、全国会議報告 牧内（諏訪）

中部ブロックについては、今年度、高山赤十字で開催された。

内容は「EIZOについて」、「災害について」、業務連絡会議。来年度は安曇野赤十字で開催されるが、日程は未定。

全国については、今年度、書類にて総会が行われた。諏訪の牧内が理事に選出された。全国赤十字放射線技師会のホームページでは分科会が立ち上がり、活発になってきており、どんどん参加してくださいとのことであった。

- ・事業報告及び収支決算について 矢崎会計（諏訪）

承認された。支出の口座管理とは法人としてのキャッシュカードの作成の費用である。

- ・事業計画及び収支予算について 矢崎会計（諏訪）

承認された。

- ・監査報告 伊藤幹事（下伊那）

承認された。

【記念講演】

「広域大規模災害での放射線部の対応」 石巻赤十字病院及川純一氏

放射線部の被害、運営について発生直後、検査を中止し患者さんの避難誘導が行われた。人的被害はなく、装置はすべて無事であった。MRIではヘッドコイルの一部が破損した。サーバーは無事であった。2Mカラー高精細モニタは院内に約100台あるが、破損したのは8台であった。放射線部内は自家発電により電力が供給された。一般撮影では1台の撮影装置とポータブルで対応した。フィルムレスになっており、フィルム1000枚の在庫があったが、すぐに無くなってしまった。CTでは読影がトリアージの赤ではモニタで、緑、黄については装置のモニタで対応した。MRIではヘッドコイルの破損などにより、発生後6日目から検査を開始した。各トリアージ場所での読影はCTと同じである。放射線治療については10日後から再開された。12時間勤務や2週間ぶりの休日など、大変苦労されたようであった。

講演後の質疑応答では被災した病院へサポートに行けるように病院のホームページに使用している装置のメーカーや機種を掲載してほしいという要望があった。【業務連絡】

- ・各施設の問題について各施設の当直の状況について報告され、よりよい環境を求めて病院と協議している施設が多数あった。
- ・役職名称について課長職については 1課長、 2課長というものではなく画像管理課長などの名前をつけている施設が多数あった。医療技術部については、まだどの施設でも完全には施行されていない。
- ・機器共同購入について下伊那赤十字では共同購入が行われ、金額はあまり変わらないが、保守がプラス 1年というメリットがあるということだった。

【共同テーマ】

- ・大規模災害時の放射線部の対応放射線部独自のマニュアルがある施設もあったが、ない施設も多数あった。
- ・撮影マニュアルの整備長野赤十字の撮影マニュアルが多数の施設で使用されていた。安全管理のマニュアルが電カルで見ることが出来る施設もあった。
 - ・学術実績資料集めのみであった。
- ・画像管理完全フィルムレスの施設もあったが、一部フィルム出しの施設も多数あった。技師以外が CD-Rを焼く施設も多数あった。
- ・人事交流多数の施設が装置の研修のみであったが、がんセンターと交流している施設もあった。
 - ・AIについて多数の施設が年に数回程度行っている。
 - 内規についてはどの施設も作成されていない。一部で作成中。

2011. 9. 11

第40回長野県赤十字放射線技師会研修会

(長野赤十字病院大会議室)

学術共同テーマ

議事録

1) 規模災害時、放射線部の対応は(検査体制やスタッフ拘束等・応援体制)

飯山地区では震度5以上は病院に登院、緊急連絡網はあるが放射線部のマニュアルはない、病院のマニュアルはある。(飯山)

震度5以上の場合は病院へ来られる者は病院に登院、災害訓練は行っている。災害対策マニュアルあり一般撮影はフィルム、CTは本体で読影。(長野)

施設は免震構造でソフト面では震度6弱で登院、CRプリンター用フィルム1000枚備蓄、ポータブルは救急部に常備している。(安曇野)

開院時では施設の安全を確認して、患者を避難誘導。(川西)

病院より、一斉メールにて全職員に災害のための登院連絡が入る。検査が行える状態ならばX-P、C

T、X-TV等、対応する。状況により、USのみ対応する。通電していなければ、トリアージの設置・患者の搬送手伝い。（諏訪）

当院の訓練では放射線科のある建屋は震度5～6では倒壊予定になっている。停電と倒壊で放射線科は機能停止となり、技師は救護員への配置となる予定、仮設の準備しだいでポータブル撮影がやっと思っっている。防災対応マニュアルに従って対応している。年一回防災災害訓練。（下伊那）

2) 各部門・撮影マニュアル整備状況は

長野日赤の撮影法マニュアルを参考、安全面でのマニュアルは各モダリティにある。(飯山)

各部門マニュアルは整備されている(病院機能評価用)。電カル上にはない。細かい撮影マニュアルは各部署にて対応。当直で使用するような機器は操作マニュアルが完備している。(長野)

紙ベースでは長野日赤の撮影法マニュアルを参考、各モダリティごとの操作マニュアルはある。各パソコン上の共有ファイルにて撮影業務マニュアルを作成中。(安曇野)

一般撮影：長野赤十字病院のマニュアルを参考CT：造影時のディレイタイムのみ有骨密度(前腕用)：メーカー説明書にてMDL：食道、レリーフ、二重造影、充満、噴門、圧迫、十二指腸(8部所、20回撮影)(川西)

各撮影マニュアルは整備されている。(病院機能評価用)電カル上にはない。細かい撮影マニュアルは各部署にて対応各部門に撮影及び緊急時の対応マニュアルを用意してある。(諏訪)

撮影マニュアルは1994年の長野日赤版を使用

管理マニュアルは平成16年版を使用し(安曇野版を下伊那版に)現在は見直しを行っている。(下伊那)

3) 昨年度院内・院外講習会・学会実績は(記録を含め)

記録している。(飯山)

年単位で医誌編集のため、演題発表の記録は取る。学会講習会の個人の出発記録は一応記録している。出張申請したものには、技師長を通す為、把握している。(長野)

参加簿に記録している(安曇野)

県下放射線技師学術大会<軽井沢>マンモグラフィ撮影読影<松本>2ヶ月に一回院内委員会・部会主催の勉強会(川西)

院外(参加のみ)39件(諏訪)

日赤本社研修

MMG資格継続研修

南信支部勉強会(下伊那)

4) デジタル画像フィルムレスはどの程度、ロスフィルムなどの画

像管理・また検像システムは

フィルムレスはまだ移行していない。画像計測ソフトがあれば一般撮影はフィルムレスに完全に移行できるのか。ロスフィルムは1%以内になっている。たまにオーバーすることがある。(飯山)

マンモとデンタルはフィルム出力、他はフィルムレス。通常はCD-Rコピーだが登録医の一部のためにレーザーを一台残しフィルム出力対応している。必ず検像システムを経由してサーバーへ(アンギオ、

R I 以外) 一般 (手動) C T (1 0 分) M R I (1 時間) で自動送信ロスは検像システムでチェック、極力ダブルチェック。(長野)

マンモグラフィーは健診のみフィルム出力、股関節・膝関節人工関節置換手術用の撮影は別にフィルム出力災害時には現状ではフィルム出力にて運用予定受付事務職員が画像取り込み業務を実施、画像取り込みの件数が多く、時間をとられる。(安曇野)

フィルム出力で実施、ロスフィルムをフィルム保存庫にて保存(廃棄依頼を総務課に出しているが、実施されず。検像は各自で検像、2人いれば2人で検像。(川西)

マンモのみフィルム出力対応、ライナックの性能テスト。共同利用者には希望によりフィルム出力で行っている。検像は担当係がその都度画像確認する。(諏訪)

眼底カメラ以外は全てモニター診断、眼底カメラはデジタル保存(単独)でプリンター出力としている。月に150件程度。

特別な検像システムはないが、検像用パソコンに5Mモニターをつけて、受付で管理している。(下伊那)

5) 施設との放射線技師・人事交流については。

なし。(飯山)

なし。(割愛はある)モダリティの更新のため、研修に行ったり来たり交流はある。(長野)

交流はなし。病院ホームページで使用機種がわかれば、災害時応援にいけるのではないかと。(安曇野)

なし。(川西)

長野より技師長が来られた。(2年間)ライナックの担当者が、機種変更の際にがん研・有明Hpに1ヶ月交替で研修に行った。(諏訪)

なし。MMG件数(月120~130名)担当の女性技師を募集しています。誰か紹介してください。(下伊那)

6) その他、協議してもらいたい議題があれば。

問題提起

警察からのAiは現在では断っている。各施設はどうでしょうか。救急救命センターでAiについて対応していくとの方針技師の体を守るためにはどうするの?(長野)

Aiをおこなっているが決め事はない。CPAはAiを行っている。警察鑑識では黒いビニールの中に入れてそのまま撮影している。金属入ってもそのまま。(諏訪)

飯田署の中で依頼がある。ただあってもAiは年1件程度。(下伊那)

救急からと警察からオーダー、問題は請求金額をどうするか?(安曇野)

Aiについては年間数件あるかないか。検査中に手袋して実施。検査代金は1体一万五千元ほど。(川西)

下伊那では2年後予定でオーダーリング委員会が出来た。今は電カルの一部として、オーダーリング機能がある時代らしいが、電カル又はオーダーリングはどう導入すべきか?県内赤十字の導入状況は(下伊那)

一事後アンケート回収で問題提起、次回の検討議題に入れる。

文責 学術担当
安曇野赤十字病院
山本賢二



第 41 回長野県赤十字放射線技師研修会日程

平成 24 年 11 月 11 日 (日)

飯山赤十字病院会議室

9 : 30 ~ 【受付開始】

10 : 00 ~ 【総会】 1、開会の辞
2、会長挨拶 牧内 (諏訪)
3、会計報告 町田 (諏訪)
4、監査報告 伊藤 (下伊那)
5、役員改選

【業務連絡会議】

12 : 00 ~ 【昼食】

13 : 00 ~ 【学術】 1、講演会

座長 学術部 山本 (安曇野)

「フラットパネル搭載デジタル一般撮影装置の

アプリケーション」

GE ヘルスケアジャパン (株) TPI アプリケーション部

XRグループ長 船木 新壽 先生

14 : 00 ~ 2、共同テーマ

技師の専門性をどのように伸ばしているか？

造影剤注入器の保守点検について

電カル、オーダーリング、部門システムの状況は？

その他

15 : 30 ~ 【閉会 (予定)】

平成 24 年 11 月 11 日

第41回長野県赤十字放射線技師研修会 議事録

記録者 飯山赤十字病院 高澤茂正

1、会長挨拶

牧内 正史（諏訪）

昨年は、東日本大震災があり、世間では災害モード一色であり、第40回の節目の会を石の巻赤十字病院の及川課長講演で盛り上げていただきました。

本年は、災害復興であり、原発問題がありました。その中で、良い知らせと悪い知らせがあります。

悪い知らせは、長野赤十字病院の八町淳さんが8月30日に大型バイクで郡山ジャンクション付近で不慮の事故にあい亡くなりました。

全員で黙とうをする。

良い知らせは、OBの田中達夫（元川西赤十字病院技師長・全国赤十字技師会副会長歴任）さんが、厚生大臣賞を受賞されました、当技師会から功労金を贈呈表彰します。

また、1月19日に長野県放射線技師会で、祝賀会を催しますので、多数の参加をお願いします。

2、会計報告

町田 壮平（諏訪）

別紙1 承認された。

質問あり

会費の残高が多いが何か使用する予定がありますか？ 飯山 佐藤

会員発表で補助金を出すようになりましたので活用してください。施設で年一回赤十字以外の発表でもいいです。

下伊那 伊藤

3、会計監査報告

伊藤 保（下伊那）

別紙2 承認された。

4、役員改選

平成25年度～26年度（一期二年）

会長 飯山 高澤

副会長 長野 小林（ブロック委員を兼務）

学術 安曇野 山本

監事 諏訪 牧内（全国理事を兼務）

承認された。

5、業務連絡会議

全国赤十字放射線技師会報告

- ・HPをもっと利用してください。
- ・施設基準各届出の「専従」の取り扱いについて、厚生局監査があったので核施設は、確認してください。

中部ブロック報告

- ・日本赤十字放射線技師会中部ブロックが本格的にスタートした。長野 北陸 名古屋から、理事1名 委員2名が交代で選出することになった。

長野県では長野県赤十字放射線技師会副会長がブロックの理事か委員を順番で兼務していくことでお願いします。次回は長野の小林さんがブロックの委員となります。来年は三重県の伊勢日赤が担当となり一泊二日で行なわれますので、二日間の出張で病院に申請していいと思います。

以上



第41回長野県赤十字放射線技師会研修会

(飯山赤十字病院会議室)

学術部 山本 賢二

共同テーマ学術アンケート結果

テーマ1) 技師の専門性をどの様に伸ばしているか?

(研修方法とローテーションについて)

長野赤十字病院

技師の専門性→各部署に配置した中で自己研鑽に励んでもらっている。

ローテーション 定期的なローテーションは実施していない。

諏訪赤十字病院

新人は初年度4月～7月にかけて一般撮影、CT、ポータブルを回って当直業務に入る。各部門に専任者を設け、専任者を中心とした1～3か月の指導を行っていく。

1人2～3部門を掛け持ちしており、1週～1か月のローテーションを行っている。

基本的に1週間交代で新しい部署への交代、放射線治療部門は固定。

認定技師取得は各部門で必要があれば、(マンモ、血管撮影、超音波、治療等)認定技師、専門技師等。

通常ローテーションは1週間ごとに、中間技師層は1週間と固定勤務を組み合わせる業務を実施。

安曇野赤十字病院

研修プログラムと呼ばれるものはない、ただし福利厚生制度(ベネフィット)等で研修補助が出る。認定技師費用は病院が認められているもの以外は自己負担。

業務ローテーション・係長はローテーションを行わない。

(マンモグラフィー認定技師1名)女性技師3名認定を目指す。

飯山赤十字病院

新人が当直に入れるように研修、盆明けから当直業務、業務ローテーションはCT・MRI・マンモグラフィー等、モダリティーに5名ずつ担当を配置し業務を交代しながら勤務二人でマンモグラフィーを行っている。またCTとMRIは重複して業務を行う技師や、MRIとRIを両方担当している技師がいる。また1週間全く同じ業務を行うわけではなく 例えば

月曜日 MRI 火曜日一般撮影

水曜日透視 木曜日MRI 金曜日RI

など個々にローテーションわりと日替わりで業務を回る。

下伊那赤十字病院

研修：組織的に必要なもの、技師においてはマンモグラフィー、例えば施設認定をとるために、病院負担で研修に行かせて、資格を修得する。それ以外では個人的に起案書を書いて、100%、50%、0%などいろいろなバリエーションがある。個人で行ってもらっている。

正職員は2人のみで、健診マンモ水木AM中 パート職員1名にて患者半日に20名、一ヶ月に160名、それ以外朝3～4名業務ローテーションは2人だけなので例えばMDLが終わったら、一般撮影が空いている時間でCTなど2人掛け持ちでさまざまな業務を行っている。そのためローテーションは特に決めていない。

課内の全装置が操作できて、技師はどんな業務を行っても技師なので、仕事が全て出来るということが前提、例えばCTにおいてもプロトコルが作られていれば、こういった検査でもどうにかできることが前提で、当院において認定技師はあまり重要とされていないが、個人で取得することには、反対はしない。

川西赤十字病院

研修プログラムは無し、個人的な興味があれば、自分で時間を作って行く、業務ローテーションは技師2名しか居ないので、1名は一般撮影専任で、もう一人はCT・透視・ポータブルを担当する。ただし一般撮影が暇でCT等が忙しい時にはCTなどを行う。毎日日替わりで業務交替を行っている。

テーマ2) 造影剤注入器の保守点検と電子カルテについて

長野赤十字病院

CTは造影剤注入器は根本CTの保守契約に含めて年1回点検、放射線治療計画用CTは年1回スポット点検。

MRI：造影剤注入器は根本とメドラッド、MRI造影剤注入器の保守契約はなし年1回のスポット点検。

アンギオ室造影剤注入器はアンギオ本体の保守に含めて年1回実施。

電子カルテ平成22年3月フィルムレス

富士通HOPE/EGMAIN-GX DrABLE PSP

諏訪赤十字病院

CT造影剤注入器→更新したてで1年以内なので保守契約はしていない。

5・6年前のCTの造影剤注入器はスポットにて点検また始業点検と年2回の自主点検、MEの名前も連名で点検記録に署名。

アンギオ造影剤注入器 本体の保守に造影剤注入器の点検を含む。

電子カルテ富士通HOPE/EGMAIN-GX オーダーリング SYNAPSE
放射線情報管理システム F-RIS

新設の歯科口腔外科（10/1より）は、とりあえず紙伝票運用。

安曇野赤十字病院

CT・MRI造影剤注入器：年1回の定期点検

アンギオ（だいぶ前に購入なので）保守プログラムの中になく、年1回のスポットで対応している。

安全管理者はMEなので点検記録報告書を上げている。他の放射線機器も点検記録報告書とともにME課に上げている。

電子カルテ富士通HOPE/EGMAIN-GX PACS PSP

飯山赤十字病院

関東労務局の査察が最近あり、CT・MRI造影剤注入器年1回点検。

電子カルテは富士通 EG ASSIST EG MAIN/NT

病棟は電子カルテ、外来は紙カルテ、電子カルテとオーダーリングの更新予定は4年後現在富士通 EG MAIN/NT 放射線情報システム RADON

PACSはキッセイ 但し読影はNPOのからみでPSP

この中でキッセイはLinux→ライセンスフリー

PSP windows→ライセンス料発生

下伊那赤十字病院

造影剤注入器はCT用にネモト。

本社の共同購入でCT購入、2年間の無料メンテナンス。

営業所のある名古屋から他の病院の年2回の保守点検のついでにサービスとして訪問保守点検を行い、装置清掃と動作点検を点検契約がなされていない状況であるが無料で行っていた。今後も点検記録簿が無い状態で点検がされる予定。

当院の職員の中には電子カルテの中にPACSやオーダーリングがあることは認識している。オーダーリングは構築中電算（株）を導入中、PACSはフジオオーダーリングも考慮してPACSの端末を電算の管理で富士通のPCを導入2Mカラーモニターと白黒モニター、マンモ用に5Mモニター3台導入、またナナオのモニターをフジフィルム管理で導入している。そして代理店ワキタ経由でPCのグラフィックボード等で更新のとき、フジに電話すればよいのか、富士通に電話すればよいのか、ワキタにクレームすればよいのか

か解らない。PCのハードは放射線科では管理できず、導入がばらばらだと、保守等怖い問題がある。

川西赤十字病院

CT装置に造影剤注入器あり定期保守契約なし、サービスの方が巡回した時に診てもらっている。

電子カルテ・オーダーリングはまだ導入せず。紙カルテ運用、一般撮影画像のみKONICAのPACSに保存をしている。

会場より発言

安曇野赤十字病院 茅野氏

点検記録簿がないと法令違反になるので、作成してハンコを貰わないと保健所の監査で指摘される。装置メーカーは施設に納品する時に取扱い説明書に点検記録簿をつけなさいと記載している。

すべての点検をユーザーが行っていいもの以外はメーカーに相談がないと技師はやってはいけない。病院側としては安全責任者を設けて、記録を残してゆくことが必要となる。

その他議題

諏訪赤十字病院 牧内氏より

諏訪赤十字病院でも最近歯科口腔外科が診療を開始したが、電子カルテ上医科と歯科では異なっているが、どのような運用を行っているのか。

例えば放射線科ではパノラマ撮影とデンタル撮影ではどうしているのか。

会場より長野赤十字病院から返答

パノラマ撮影はCRにて撮影、画像サーバーに転送、デンタル撮影はアナログフィルムにて撮影、歯科にフィルム現物を患者に持たせ診察に使用、またオーダーリングは、例えば医科のパノラマと歯科のパノラマのようにオーダー項目を区別していれば運用には長野赤十字病院として、混乱はさほどないのが現状である。

以上

第42回長野県赤十字放射線技師研修会日程

平成25年11月17日(日)

佐久市駒の里ふれあいセンター
(川西赤十字病院)

9:30 【受付開始】

10:00 【総会】 1、開会の辞

2、会長挨拶

3、会計報告

4、監査報告

5、業務連絡会議

10:45 新人紹介

11:00 【学術】 【共同テーマ】

12:00 【昼食】

13:00 【会員発表】 マンモフラットパネルの使用経験
長野赤十字病院 河野 美和 会員

13:15 【講演会Ⅰ】 富士フィルムが御提供するマンモグラフィーソリューション
富士フィルムメディカル中部地区営業本部営業支援
グループ MS担当 増田 雅史 先生

13:50～14:00 休憩

14:00 【講演会Ⅱ】 マンモグラフィーの現状と課題
社会保険群馬中央総合病院 新井 敏子 先生

次期当番病院挨拶 記念撮影

功労者(退職者)表彰

15:30 【閉会予定】

平成 25 年 11 月 25 日

第 42 回 長野県赤十字放射線技師研修会 議事録

議事録作成 長野赤十字病院 小林 実

当番病院 : 川西赤十字病院
開催日 : 平成 25 年 11 月 17 日 (日)
開催時間 : 10:00 ~ 15:30
開催場所 : 佐久市駒の里ふれあいセンター
出席者 : 飯山病院 高澤茂正、桶田正彦、小川こづ恵、丸山洸貴
長野病院 小林 実、河野美和、桑原行弘、大澤はる美、
山崎淳弘
安曇野病院 関 利明、山本賢二
諏訪病院 牧内正史、森田啓之、岩間 翔、関 真司
堀田幸治朗
川西病院 坂戸 基、三井宏映
下伊那病院 武田貞弘 計 19 名

[議事内容] 司会 牧内正史 (諏訪)

総会議題

会長挨拶 高澤茂正 (飯山)

今回赤十字技師会中部ブロック会議が伊勢赤十字病院で開催された。

今後は中部ブロックおよび長野県赤十字技師会の 2 本立てで開催予定である。

1. 会計報告 桶田正彦 (飯山)

24 年度決算報告および 25 年度予算計画に関して報告が行われた。

学術運営基金に関しては動きがない、できれば今後 OB 会開催、研究会へ補助を行って行きたいと考えている。会計報告に関して質問なし 全員一致で了承される。

2. 監査報告 牧内正史 (諏訪)

監事より帳簿、通帳、現金に関して適切な運用管理されている事を確認したとの監査報告がおこなわれた。

3. 業務連絡会議

*高澤茂正会長 (飯山)・・・名称変更に関して

日本赤十字放射線技師会が日本赤十字社診療放射線技師会と名称が変更となった。

そのため当会も名称変更が必要と考えています。

質問、質疑等なし 今日総会を持って名称変更となった。

今後 規約の変更を行います。

長野県赤十字放射線技師会より → 長野県赤十字診療放射線技師会に名称変更

*全国赤十字技師会報告 牧内会員 (諏訪)

- ・医療安全「知恵の輪」に関して

全国の赤十字病院がすべて終了した事のお礼報告

- ・会員名簿に関して

赤十字技師会の会員専用ホームページより閲覧可能となりました。

アクセス番号が不明の場合は 牧内会員までご連絡ください。

- ・日本赤十字放射線技師会より日本赤十字社診療放射線技師会に名称が変更されました。
- ・平成26年度 学術総会は5月23日 24日 東京国際ホールで開催予定です。
- ・次年度退職者がいましたら本会に推薦しますので長野赤十字 小林ブロック委員まで連絡して下さい。

*その他

- ・小林会員 (長野)

本会より原子力災害に関してガイドラインが出された、今後 講習会や各施設での運用を含め検討をして行く必要があるのではないかと。県下の赤十字技師会員もこの様なガイドラインが出た事を知っていた方が良いでしょう。

- ・山本会員 (安曇)

女性技師への産休、当直等に関して各施設での対応を教えてください。

飯山・・結婚しても当直、ローテーションに変更なし。

産休の間マンモ撮影は他の女性技師が対応 場合によっては男性の場合もある。

妊娠が分った時点でプロテクターを必要とする業務には付かない
つわりがひどい場合には申し出れば休みあり、産休の間はパートあり。

長野・・妊娠が分った時点で当直免除、子供が6歳になるまで当直免除

当院は女性が数名いるのでマンモに関して男性が撮る事はない。

産休中 パート採用は可能

安曇野・未婚の女性が4名いる 複数名が産休の可能性もある。

諏訪・・産休中はパートで対応 産休明けは当直免除

マンモは複数の女性で対応、プロテクターを必要とする業務は免除
下伊那・現在パート女性技師1名（高齢）通常と変わらず。

- ・武田会員（下伊那）
保健所立入検査において被曝線量管理で指摘あり 各施設での被曝管理状況を教えてほしい。
- ・飯山・・・被曝管理は病院事務が行っている。
特に指導指摘はありません。
- ・長野・・・バッジ配布管理は技師が実施、血液検査は衛生管理者（看護師で衛生管理者資格保持者）が基準監督署への報告を一緒に行っている。
バッジ配布数は300程 配布者には半年毎 問診表を配布皮膚・水晶体・血液検査の項目に関し実施しています。
- ・安曇野・被曝管理用の血液検査は病院が行っています。
- ・諏訪・・・バッジの配布は70~80におさえました。
常時立入者のみ対象としました。
- ・川西・・・バッジ数は11ケ（5名分 総務課より管理 報告を行っているが保健所からの指導はありません。

[学術発表] 協同テーマ・・・撮影時における補助具の運用法に関して

各施設より代表者 発表

- ・発砲スチロールを使用した固定具の発表（手、指 頭部、大腿骨側面撮影）等々
- ・アントンセン ローゼンバーグ、等々の角度計
- ・カセットスタンド 踏み台による代用
- ・嚙下造影撮影における専用車いす、また代用方法による使用法
- ・砂袋による荷重撮影法への応用 に関して発表が行われました。

[新人会員の紹介] 今年度の新人会員の紹介が行われました。

長野・・・山崎淳弘

諏訪・・・岩間 翔、 関 真司、 堀田 幸治郎 以上 4名

[会員発表] 「マンモフラットパネルの使用経験」

河野 美和（長野）

[講演会 I] メーカー講演・「富士フィルムがご提供するマンモグラフィソリューション」

富士フィルムメディカル中部地区営業本部営業支援グループ MS 担当

池田 雅史 先生

デモ機による展示あり（モニター）

【講演会 II】 「マンモグラフィーの現状と課題」

社会保険群馬中央総合病院

新井 敏子 先生

全国マンモ認定技師の状況 機器管理や保守の重要性・管理に関して講演していただきました。

次年度開催当番病院は諏訪赤十字病院 牧内会員より開催出席依頼があり、全員で記念撮影を行いました。

第42回長野県赤十字放射線技師研修会



第 43 回長野県赤十字診療放射線技師研修会 日程

平成 26 年 11 月 23 日 (日)

諏訪赤十字病院 研修センター (2F)

9 : 30 【受付開始】

10 : 00 【総会】

1、開会の辞

2、会長挨拶

3、会計報告

4、監査報告

5、業務連絡会議 (当番病院確認)

10 : 45 新人紹介

11 : 00 【学術】

【共同テーマ】

12 : 00 【昼食】

13 : 00 ~ 13 : 40

演題名 「GE 社製 PETCT の特徴」

演者： GE ヘルスケア・ジャパン MICT 営業部 細谷一美 先生

13 : 50 ~ 14 : 20

演題名 「Discovery PET/CT 710 の使用経験」

演者： 諏訪赤十字病院 核医学センター 町田荘平 会員

次期役員選出 承認

次期当番病院挨拶

記念撮影

14 : 30 ~ 15 : 30 施設見学

15 : 30 【閉会予定】

平成26年12月15日

第43回長野県赤十字診療放射線技師研修会 議事録

議事録作成 諏訪赤十字病院 横沢 崇

当番病院 : 諏訪赤十字病院
開催日 : 平成26年11月23日
開催時間 : 10:00 ~ 15:30
開催場所 : 諏訪赤十字病院 研修センター
出席者 : 飯山 …高澤茂正、佐藤文彦、樋田正彦、丸山洸貴
長野 …小林実、西村勝幸、福澤明、佐藤一樹
川西 …三井宏映
安曇野…茅野充治、山本賢二、小口佳央理、藤沢友貴
下伊那…伊藤保
諏訪 …牧内正史、清水郷司、赤津英尚、森田啓之、
横沢崇、町田莊平、宮坂卓也、岡部佑耶、
五十嵐幸哲、山口健太、田口沙也加、塚田美咲

計26名

【総会】 司会 高澤茂正会長 (飯山)

議事内容

1・2.会長挨拶 高澤茂正会長 (飯山)

昨日、長野県北部で大きな地震があったが被害はどうでしょうか。本日の研修会はPETを中心に行っています。

3.会計報告 樋田正彦会計理事 (飯山)

平成25年度決算報告および平成26年度の予算計画に関して報告が行なわれた。
また会の名称が変更されたことにより、口座の名称も変更した。

<質問> 佐藤文彦 (飯山)

研究補助金が40000円とあるが、どの施設の誰がどんな発表をしたのかの記載がない。発表を行った会員への称賛も含め、事業報告をおこなってはどうか。

↓

研究補助は諏訪に1例、安曇野に1例、飯山に1例、長野に1例あった。研究補助の事業報告については次回より総会にて行うこととなった。

<質問> 伊藤保 (下伊那)

学術運営基金が使われていない。来年、中部ブロックの当番が長野にまわってくるので、それに向けて有効に利用できないでしょうか。若い人達が発表する際のサポートになるのではないかと。

↓

学術運営基金は何十周年などの節目に記念誌の発行や記念品購入の為の予算という経緯がある。研究補助に関しては一般会計の枠を広げてはどうか、細則第4条に一文たしてはどうか、1施設1名というルールの中では格差があるのではないかなど活発な意見交換が行なわれたが結論が得られず次回へ 継続審議となった。 会計報告は、全員一致で承認された。

4.監査報告 牧内正史監事 (諏訪)

監事より帳簿、通帳、現金に関して適切な運用管理されていることを確認したとの報告が行なわれた。

5.業務連絡会議

・中部ブロック報告 小林実中部ブロック委員 (長野)

来年11月に中部ブロック責任者会議が長野で行われる。

来年9月頃、中部ブロックの研修会が浜松で行われる。再来年は長野で開催となるので両年共ご協力よろしくお願いします。

原子力災害に対しての研修を行い、日本赤十字社の社員として救護班の役割を果たしていかなければならない。

・全国赤十字診療放射線技師会報告 牧内正史全国監事 (諏訪)

春の総会より、新しいホームページになりました。SNS機能もあり会員間の交流も可能となりました。相談、質問の際には是非ご利用してみてください。

・長野県診療放射線技師会より 佐藤文彦理事 (飯山)

名称が正しい名前に変更になりました。ありがとうございます。

県診療放射線技師会の理事が一新しました。赤十字の病院からは5名の方が選出されました。任期は一期ですが、二期お願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。

平成27年1月10日に賀詞交換会が行なわれます。県臨床検査技師会と合同で、臨床検査技師100名と診療放射線技師100名の合計200名の規模で行われます。それと一緒に県の健康予防課の方より最近の医療情勢についての講演がありますので、是非、参加してください。

【新入会員の紹介】

諏訪・・・山口健太、五十嵐幸哲、田口沙也加、塚田美咲 以上4名

自己紹介があり「これから宜しくお願いいたします。」と挨拶がありました。

【学術発表】 座長 山本賢二 学術理事 (安曇野)

共同テーマ：院内画像ネットワークの現状と管理について ...別紙

各施設の画像ネットワークの構成、運用についての報告及び質問が行なわれた。

【講演会 I】

演題名 「GE 社製 PETCT の特徴」

演者 GE ヘルスケアジャパン MICT 営業部 細谷一美 先生

GE 社製の PETCT の歴史と最新鋭機器の紹介、現在使用している検出器の特性について講演を行った。GE では 2001 年に国内初の、PET と CT を融合した Discovery LS を市場に投入してから、Discovery ST、Discovery STE、Discovery 600 シリーズを市場に投入している。最新の PETCT としては、Discovery 710 と Discovery IQ の 2 機種がある。Discovery 710 は LYSO を素材とした検出器を採用し、TOF (タイム・オブ・フライト) 技術を利用しての画質向上を図っている。Discovery IQ は BGO を素材とする検出器を採用し、より高い感度特性と Q.Clear と呼ばれる最新の再構成アルゴリズムを利用することによって画質向上を図っている。どちらの機種にも CT の再構成には ASiR と呼ぶ逐次近似法による再構成アルゴリズムを採用することにより、患者の被曝低減に努めている。このように GE 社の PETCT は画質と被曝低減を両立させた最新のテクノロジーが採用されている。PETCT 検査は全身の悪性腫瘍検索や遠隔臓器転移の診断における保険適用拡大により、今後さらに有用性が増し、放射線診断に貢献すると考える。

【講演会 II】

演題名 「Discovery PET/CT 710 の使用経験」

演者 諏訪赤十字病院 核医学センター 町田荘平 会員

当院では新たに PET/CT 装置 (GE 製 Discovery PET/CT 710) が導入され、8 月 18 日より稼動となった。装置の契約から稼動までのスケジュールや、装置導入に伴って行われた。当院施設の改修内容についての報告。また改修後の施設内の様子を写真にて紹介した。その後、当院における PET 検査の患者の入室から投与、撮影、退室までのタイムスケジュールおよび PET 撮影時 1 ベッドあたりの収集時間算出方法の紹介を行った。Discovery PET/CT 710 の特徴である TOF を用いた画像再構成について、TOF の簡単な原理の解説と、TOF を使用した画像と TOF 未使用の画像を比較し、SUV 値がどのように向上したかなど紹介した。PET/CT 装置導入から約 3 ヶ月における検査実施件数 (11/14 現在 : 193 件) と診療科ごとのオーダー数比較、稼動を開始してから発生した検査に影響の出たトラブルの内容などを報告した。

【次期役員選出】 平成 27 年度～28 年度 (一期二年)

前 会 長 : 高澤 茂正 (飯山)	→	新 会 長 : 小林 実 (長野)
副会長 : 小林 実 (長野)	→	副会長 : 茅野 充治 (安曇野)
監 事 : 牧内 正史 (諏訪)	→	監 事 : 高澤 茂正 (飯山)
学術理事 : 山本 賢二 (安曇野)	→	学術理事 : 武田 貞弘 (下伊那)
会計理事 : 桶田 正彦 (飯山)	→	会計理事 : 福澤 明 (長野)

以上 5名に引き継がれ、承認されました。

「二年間、宜しくお願い致します。」と新会長より挨拶がありました。

【次期当番病院挨拶】 伊藤 保 (下伊那)

松川では松茸が10月頃ピークになりますので、会長と相談し日程を考えていきたいと思ひます。お昼を楽しみにして下さい。

全員で記念撮影を行い、終了後、諏訪病院「核医学センター」の最新PET/CT装置と施設見学を行い散会しました。

